

国 語

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 各領域において、言語活動を通して資質・能力を育成できるような内容・構成になっているか。 A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと
	(5) 我が国の言語文化に関する指導の充実を図ることができるよう工夫されているか。
	(6) 読書活動に結びつくよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特徴をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者 東 書	学 図	教 出	光 村
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の基盤として習得すべき基礎的・基本的な知識・技能を「おさえる」として随所に明示することで、確実に習得できるよう工夫されている。 ・仮名や漢字の読み書きなど、児童がつまずきやすい事項について、練習教材を適所に設けることで、確実に習得できるよう工夫されている。 ・2年以上の各学年4月に「情報の扱い方」に関する小単元を設けることで、学年に応じた情報の扱い方の基礎が確実に習得できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や漢字、言葉の意味については「言葉のいずみ」、語法や文法、日本語の使い方については「言葉のきまり」として取り立てて教材化することで、確実に習得できるよう工夫されている。 ・社会科と関連させながら学習を進めることができるよう、4年に都道府県の漢字の学習活動を設けることで、確実に習得できるよう工夫されている。 ・学習のポイントと巻末資料がリンクするように明示することで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の4月から7月にかけて、あいさつから対話、グループでの独話、クラスでの発表へと段階を付けて学習を進めることで、話すことと聞くことの基礎が確実に習得できるよう工夫されている。 ・漢字を学習する教材として、「漢字の広場」を各学年に設けることで、漢字の読み書きが確実に習得できるよう工夫されている。 ・巻末に「『ここが大事』のまとめ」「学ぶときに使う言葉」として学習内容と用語を簡潔に示すことで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「国語の学びを見わたそう」や、各単元の「学習の進め方」において、学習する内容や進め方を明示することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるよう工夫されている。 ・各単元の「たいせつ」や巻末の「たいせつまとめ」で身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能を簡潔に示すことで、確実に習得できるよう工夫されている。 ・学習のポイントを虫眼鏡マークを用いたり、「コラム」に明示したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・表現力等が育成されるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次や単元扉で各題材の重点指導事項を示すとともに、それに即した具体的な言語活動を設定し、活動の目的や意図、条件に沿った課題解決的な学習を進めることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 ・思考を言語化して整理したり深めたりしながら考えを形成する手立てとして、ノートやメモ、カードや図・表、対話等の例を随所に提示することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の活動において、図・表・イメージマップなど、さまざまな思考ツールを取り入れ、情報を視覚的にとらえて整理していく学習を進めていくことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 ・3年以上では、情報と情報との関係や情報の整理の仕方について体感的に理解する教材を配置し、演習を通した学習を進めることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「てびき」のそれぞれの学習過程において、児童の反応例を示し、自分の考えを見直したり深めたりしながら学習を進めることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 ・スピーチメモや練習の段階などでお互いに助言し合う際の視点を示すとともに、活動後に感想を交流し、自己評価・相互評価する項目を設けるなど、学び合いを重視することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上の巻頭「考えるときに使おう」のページに、考えを深め表現するための手がかりを分かりやすく整理し、それぞれの学習活動に生かしながら学習を進めていくことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 ・「いかそう」のコーナーに、国語の学習で身に付けた力を他教科や日常生活の場で生かすためのヒントを提示することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

発行者		東書	学図	教出	光村
2 学習指導要領の目標や内容等の特長	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 2年以上の各学年の冒頭に「国語の学習の進め方」を設けることで、児童自らが課題意識をもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 各単元末に設定されている「生かそう」に、言葉の力を他教科の学習や日常生活に生かす視点を明示することで、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年以上の各学年の冒頭に、「〇年でつきたい力」を設けることで、児童が「つきたい力」を意識しながら主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 各学年に、他教科で言語活動を取りあがる際の参考や支援になる資料や教材を配し、いつでも活用できるようにすることで、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元や学習の手引の欄に、課題に対する見通しをもつことができる吹き出しを示すことで、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 各学年に、日常の学習に活用できる教材を設定することで、学習で獲得した言葉の力を活用して、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」単元に「単元の扉」と学習の流れをまとめた「学習」ページを設けることで、児童が見通しをもって主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 巻末付録に学習内容を整理した資料や、他教科で参照できる資料を配し、いつでも活用できるようにすることで、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	学 図	教 出	光 村
観点	(4) A 「話すこと・聞くこと」	<ul style="list-style-type: none"> 生活場面での活用を意図して、「スピーチ」「話し合い」「紹介」「説明」「インタビュー」等の教材を設けることで、言語活動を通して話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 使う言葉や態度、話の組み立て方や資料を活用した説明の仕方、目的をもって聞く方法を具体的に示すことで、言語活動を通して話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味や発達の段階に応じた取り組みやすい題材で主体的に話したり聞いたり、話し合ったりする教材を設定することで、言語活動を通して話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 2年以上に、その場にふさわしい話し方・聞き方を対話しながら考える教材を設定することで、言語活動を通して話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的意識や必然性、必要感、児童の意欲を重視し、実生活に結びついた教材を設定することで、言語活動を通して話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 「スピーチ」「話し合い」「説明報告」について計画的、系統的に学習できるように単元を構成することで、言語活動を通して話す聞く力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で「耳を傾ける系列」「話し合う系列」「声を届ける系列」の三つの言語活動を配置することで、これらの言語活動に取り組みながら話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 言語活動に必要な感、必然性をもたせるため、日常生活に話題を求めながら目的意識、相手意識を明確に設定することで、話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。
	B 「書くこと」	<ul style="list-style-type: none"> 「説明、報告」「意見」「物語、短歌、詩」「手紙」「文集」「新聞」「ポスター」等、目的や相手に応じて書く言語活動を設定することで、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 低学年においては、身近な生活での出来事や見たこと聞いたことについて書く単元を設け、書く手順や留意点を分かりやすく示すことで、言語活動を通して書くことに慣れ親しみ、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文の教材に続けて書く教材を設定し、読解で得た資質や能力を書く活動に効果的につなげることで、論理的に考える力や、分かりやすく伝えるための書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 ねらいや技能を焦点化して学習を進めるレッスン教材「文章の書き方・まとめ方」を設定することで、言語活動を通して基礎的な書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「手紙」「日記」「観察記録文」「報告文」「リーフレット」「ポスター」「意見文」等、多様な言語活動を取り上げた教材を設定し、他領域等との関連を図ることで、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 書く活動における「選材→調査→構成→記述→推敲→感想交流→振り返り」という言語活動の手順を明確に示すことで、言語活動を通して書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「報告文」「記録文」「自分を見つめ生き方を考える意見文」「手紙」「新聞」「ポスター」「パンフレット」「俳句短歌」などの言語活動を設定することで、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 短作文や創作の教材を設定することで、他の「書くこと」の学習や他教科等での学習に生かそうとする意欲の向上を図るとともに、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。

2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長

各領域において、言語活動を通して資質・能力を育成できるように内容・構成になっているか。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	学 図	教 出	光 村
2 な学習指導要領の育成を図る上での特長 確か	(6) か。読書活動に結びつくよう工夫されている	<ul style="list-style-type: none"> 児童の読書生活に目を向ける読書単元を全学年に設けることで、読書活動の充実が図られるよう工夫されている。 著名人の読書体験文や、おすすめの本を多様な図書とともに紹介することで、読書への関心を高められるよう工夫されている。 各学年に、「図書館へ行こう」を設けることで、実際に図書館を利用する経験を通して目的に応じた図書館の利用方法を学習できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読書に親しもう」、「読書を広げよう」を設けることで、読書活動を通して探究的に物語文を読んだり、自身の読書生活を振り返ったりできるよう工夫されている。 「読書の部屋」で多くの本を取り上げること、読書活動の幅を広げることができるよう工夫されている。 図書館活用を図るための教材を設けることで、必要な本や資料を選ぶ方法を学習できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書紹介を中心とした交流活動を行う読書交流教材を全学年に設けることで、読書活動の充実が図られるよう工夫されている。 「読むこと」教材の手引や各巻の付録に図書紹介のページを設けることで、読書への関心を高められるよう工夫されている。 各学年の発達の段階に応じて、1～4年に図書館活用を図るための情報活用教材を設けることで、目的に応じた図書館の利用方法を学習できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 昔話やノンフィクションなど、各学年に応じた読み物教材や読書活動に関連付けて掲載することで、どの学年も楽しみながら読書に取り組めるよう工夫されている。 単元末や巻末付録に図書紹介のページを設けることで、読書への関心を高められるよう工夫されている。 各学年の発達の段階に応じて、全学年に図書館活用を図るための教材を設けることで、必要な本や資料を選ぶ方法を学習できるよう工夫されている。
3 記・表現効果や体裁の特長 見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表	(1) いとも文章は、豊かな分りやすく、質・量	<ul style="list-style-type: none"> 中学年の俳句や短歌、高学年の古文や漢文に親しむ教材では、多くの作品を取り上げ、現代語訳や歴史的背景を説明することで、豊かな記述内容になるよう配慮されている。 各学年の付録では、同一作者作品や類似テーマについて発展的な学習ができる長文の物語文教材を取り上げることで、豊かな記述内容となるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年以上の各学年に、「季節のたより」を設定し、四季折々の言葉や詩、俳句などを数多く取り上げることで、豊かな記述内容になるよう配慮されている。 2年以上の「読書の部屋」では、発達の段階や児童の興味に応じた本を、表紙や紹介文を添えて数多く提示することで、豊かな記述内容となるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の単元では、組み立てメモや推敲の段階などの手立てを具体的にわかりやすく例示することで、豊かな記述内容になるよう配慮されている。 2年以上の「読むこと」教材の「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」付録「言葉の木」では発達の段階に沿った様々な言葉を記載することで、豊かな記述内容となるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」の単元では、話す・聞く活動のステップごとに作例やメモ例を詳しく提示することで、豊かな記述内容になるよう配慮されている。 2年以上の「言葉の宝箱」のページに、発達の段階に応じた「考えや気持ちを表す言葉」を数多く記載することで、豊かな記述内容となるよう配慮されている。
	(2) る。学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学	<ul style="list-style-type: none"> カードやメモ、図表や対話の例などを効果的に用いることで、思考を言語化して整理したり深めたりしながら自分の考えを形成できるよう配慮されている。 説明内容を解説するための写真や図表、グラフなどを示すことで、学習意欲と学習効果が高まるよう十分配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵・写真・図表などは、学習を進める上で必要なものを厳選して効果的に掲載することで、学習効果が高められるよう配慮されている。 点字の凹凸を再現した資料ページを掲載し、実際に手に触れて実感することで、学習意欲と学習効果が高まるよう十分配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵や図表・写真などは、文章の理解を助ける資料性の高いものを掲載することで、学習意欲を高められるよう配慮されている。 想像を膨らませるイメージ豊かな写真、活動の手順がわかりやすいイラストを取り上げることで、学習効果が高まるよう十分配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章理解のための写真や挿絵については、境目をはっきり区別することで情報の混在を避け、学習効果が高まるよう工夫されている。 実際の点字を印刷した資料ページを設けることで、学習意欲と学習効果が高まるよう十分配慮されている。
	(3) い紙質、レイアウトや文字の大きさ	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭には、ページの右上に領域を示すインデックスをつけた導入ページを設けることで、単元のはじまりのページが開きやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵はやさしい色合いにするとともに、囲み線や網かけをすることで、大事なポイントに気づくよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次の後に「〇年生で学ぶこと」を領域ごとに色分けして簡潔に提示することで、領域の区別がつきやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> すっきりとしたレイアウトで、図版については、色の組み合わせだけでなく、形でも区別ができるようにすることで、大切なことが一目でわかるように配慮されている。